

みんなとともに笑顔いっぱい — 創立百周年 その先の未来へ みんなとともにスマイルミッション —



みんなとともに



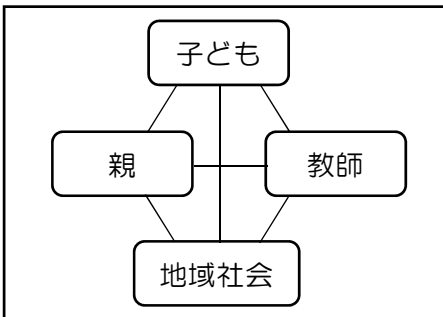
この学校だよりは、「就学時健康診断」の全体会資料として準備したものです。「だいじょうぶ」は、昨年度の「学校だより 第14号」でも取り上げましたが、子どもに安心感を与える“魔法の言葉”です。周りの大人が子どもに「だいじょうぶ」という言葉をささやくことで、子どもの口癖も「だいじょうぶ」になり、何かあっても困難を乗り越える子に育つのではないかと考えています。



【「就学時健康診断」全体会 資料】

「いろいろあって当たり前。だいじょうぶ。だいじょうぶ。」

「学校」という場は、とって人間関係の濃いところです。



学校では、「子ども」と「子ども」の関係もありますし、「子ども」と「担任」の関係もあります。また、「子ども」と「担任以外の教職員」との関係もあります。

保護者の方にとっても、「親」と「担任」の関係（その他「教職員」との関係）もありますし、PTA活動での「保護者」と「保護者」の関係、子どもを介しての「親」と「親」の関係もあります。

また、学校は「地域社会」に支えられている存在であり、「地域の方」との関係もあります。

人間関係が濃いので、いろいろな「考え」「感情」が渦巻いています。そのような中に“学校”はあり、そのような中で“子どもたち”は生活しているのです。

学校は「いろいろあるところ」です。「何もない」ということはありません。まずは、そこを出発点として「加点主義」でいきたいものです。そして、何かあったとしても、それは「意味のあること」なのです。

昨年度の「学校だより 第2号」で、このような「あいさつ」を書きました。

さて、私は、「学校は、そこに関わるすべての人の学びの場である」ととらえています。子どもにとって学びの場であることはもちろんですが、保護者の方にとっても学びの場であり、私たち教員にとっても学びの場であると考えています。

その学びを通して、「みんなが笑顔」になることが私の願いです。困ったことがあったら、いつでもご相談ください。ともに手を取り合って、ともに人生を充実させていきましょう。

お子さまの入学まで「半年」となりました。保護者の方の「安心」がお子さまの「安心」につながります。「だいじょうぶ」を口癖にして、学校を「みんなが笑顔」を実現する「学びの場」にしていきたいと思います。



「レジリエンス（逆境に負けない心）」を育てるために大切な「4つの心の筋肉」

<p>◇レジリエンスの筋肉① 「I have」 → 心の支えになる人（サポーター）との関係性を築く 【そのために大切にしたいこと】 感謝すること／ゆるすこと／共感すること</p>	<p>◇レジリエンスの筋肉③ 「I can」 → 自分の能力を信じる力（自己効力感）を育てる 【そのために大切にしたいこと】 達成体験を持つこと／モデルをまねること／励ますこと／心身を安定させること</p>
<p>◇レジリエンスの筋肉② 「I am」 → 「強み」を見つけて 自尊感情を高める 【そのために大切にしたいこと】 強みを見つけること／強みを磨くこと／弱みに向き合うこと</p>	<p>◇レジリエンスの筋肉④ 「I like」 → ポジティブ感情を高める 【そのために大切にしたいこと】 物事の良い面を探すこと／自分の強みを日常の生活に生かすこと／他者との関係性を築くこと</p>

「励ましオウム」が、子どもの肩の上でささやくように働きかけたいものです。

「やればできるよ、がんばろう」「よくがんばっているよ」「大丈夫だよ」

そうすれば、学校生活にもうまく慣れると思うのですが、いかがでしょう。

【参考】子どもの「逆境に負けない心」を育てる本（法研）

